



【学校教育目標】

生気に満ちた姿勢で
物事にあたり
互いに励まし高め合う生徒

令和8年7月21日(火)

発行者:校長 和田秀治

「はい」の返事が未来を創る、自分へのエール

芽室町立上美生中学校 校長 和田秀治

返事から伝わるまっすぐな気持ち

先日、ある試合会場へ応援に行った時のこと。試合の合間に、顧問からのアドバイスや指摘に対して、「はい!」「ありがとうございます!」と、ハキハキとした声で返事をする選手たちの姿がありました。その清々しい様子にとてうれしい気持ちになると同時に、「これまでの練習の成果を、どうかこの試合で発揮してほしい」と、心から願わずにはいられませんでした。

日常の練習と「頼もしさ」

こうした素晴らしい姿は、大会の会場だけで急にできるものではありません。放課後に行われている普段の練習の中にも、同じような光景があります。基本練習では、同じ動作を何度も繰り返し練習します。顧問から幾度もアドバイスや指摘を受ける中で、生徒たちが発する「はい!」という返事には、ピンと張りつめた緊張感や、「次こそは絶対にできるようになるんだ」という真剣な思いが感じられました。アドバイスを一生懸命に受け止めようとする生徒たちの表情には、未来を拓いていこうとする「頼もしさ」がありました。

返事は自分自身へのエール

大切なのは、生徒自ら「よし決めた、やってみよう、がんばってみよう」と決意して、自分の目指す理想の姿や目標に向かって、一歩でも近づこうとしている「自分へのエール」です。自分を変えられるのは、自分自身。まわりの人がどれほど素晴らしい環境を用意してくれても、自分自身が「やるんだ」と決意して一歩を踏み出さなければ何も変わりません。試合の途中で「次のセットは絶対取る」、苦しい練習の時に「できるまで諦めない」と自分の気持ちを前へ前へと引っ張っていく。返事とは、自分自身への決意表明でもあります。

マナーを超えて、人間関係や雰囲気、自分自身をよりよく高めていく

毎日の挨拶や返事の積み重ねが、お互いの心を開き、自分の印象を高めたり、周囲のモチベーションや安心感、信頼感を増すことにつながります。部活動や授業などを通じて「はい!」「ありがとうございます!」など、返事の意義を意識しながら、自分自身と向き合い、さらに高めていくことを切に願っています。

3年生参観日→





日	行事予定	日	行事予定
1(土)	<夏季休業～20(木)>	17(月)	
2(日)		18(火)	
3(月)		19(水)	
4(火)		20(木)	
5(水)		21(金)	2学期始業式
6(木)		22(土)	
7(金)		23(日)	
8(土)		24(月)	生徒会役員選挙告示
9(日)		25(火)	前期生徒会活動日、SC 来校日
10(月)		26(水)	
11(火)	山の日	27(木)	校内研修
12(水)	学校閉庁日	28(金)	1・2年生学力テスト
13(木)	学校閉庁日	29(土)	全十勝秋季野球・バスケU15 テニス十勝秋季予選
14(金)	学校閉庁日	30(日)	全十勝秋季野球・バスケU15
15(土)		31(月)	
16(日)			

★活躍する上美生中学生★

(敬称略)

《全十勝夏季バドミントン大会》7/4・5

【男子団体戦】

1回戦<上美生中 1-2 帯広一中>

宮西・大和田 0-2 渡邊・桐山

佐藤 2-0 鶴舎

廣江・山口 0-2 伊賀・中山

【女子団体戦】

1回戦<上美生中 0-3 南町中>

五嶋・宮西 0-2 小野・中村

水口 0-2 丹野

野村・村上 0-2 高山・村山



【男子シングルス】

- 1 回戦 大和田 0-2 南 (Tokachi Obiichi)
1 回戦 山口 0-2 神田 (池田)
1 回戦 廣江 2-0 富田 (富村牛)
2 回戦 廣江 0-2 小林 (南町)

【女子シングルス】

- 1 回戦 水口 0-2 大阪 (忠類)

【男子ダブルス】

- 1 回戦 佐藤・宮西 2-1 佐藤・竹内 (芽室西) ※オープン試合
2 回戦 佐藤・宮西 1-2 丹野・宮本 (アウラ+勝 BC)

【女子ダブルスー1】

- 1 回戦 五嶋・宮西 0-2 土屋・佐藤 (下音更)

【女子ダブルスー2】

- 1 回戦 野村・村上 0-2 新川・長谷川 (芽室)

《全十勝夏季ソフトテニス大会》7/4

【男子個人戦】

- 1 回戦 中島・山本 4-3 渡辺・辻本 (川西)
2 回戦 中島・山本 0-4 清水・森川 (緑南)

【女子個人戦】

- 1 回戦 荻・張田 4-1 石塚・菊地 (帯一)
2 回戦 荻・張田 4-3 根本・佐藤 (札内)
3 回戦 荻・張田 0-4 丸山・岩本 (西陵)

《全十勝夏季軟式野球大会》7/4

- 1 回戦 芽室・芽室西・上美生中 1-5 帯広市西拠点校

《全十勝夏季卓球大会》7/12

- 【男子個人戦】 北密 穂高 (札内クラブ) 上美生中

第 3 位 (全道大会出場)

《全十勝卓球選手権大会》7/20

- 【一般男子個人戦】 北密 穂高 (札内クラブ) 上美生中

ベスト 16 (全道大会出場)

《全十勝夏季バスケット大会》7/11

- 2 回戦 芽室・上美生中 60-59 大空学園

- 準決勝 芽室・上美生中 40-66 帯広八中

ベスト 8



深い学びに向けて2



本校では、自分で問いや課題を見つけ、自分で考えたり、友達と相談したり協働したりしながら学びを進めています。深い学びに向かう過程で、知識や経験を関連付けて学び、自分で考え、その考えを他者との議論や意見交換をしながら、ものの見方や価値観を深く掘り下げていきます。学びで得た知識を活用しながら、ICT（タブレット、AI、各種アプリ）の利点を生かして、探究の幅を広げていきます。



1年生・食農学習から

7月14日、地元の農産物の施設や工場の見学、職員の方々からのお話を聞いて、めむろ・上美生でとれる農作物の加工・流通・販売の仕方について学びました。

地元について学びを深め、芽室・上美生の魅力を発見する機会となりました。

2年生・校外学習から

芽室町と帯広市の観光産業（めむろ未来学）の比較について6月26日、校外調査を行いました。7月の参観日で調査結果について提案し、来年度の修学旅行につながる学びを行いました。参観日前には、1年生を迎えて事前練習を行い、発表中はメモを取るなど1年生の真剣な眼差しが光っていました。



3年生・食に関する指導から

6月23日、町給食センターの方を講師にお迎えし、食事の栄養やバランスある食事の作り方について学びました。特に、食品選択について、食品表示は食品プロフィールであること、そして、自分で食品を選ぶ際の基準や成分について学ぶことができました。